

事務事業名	体育施設運営事業				☒ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課	
施策名	21	生涯学習の推進			所属係	スポーツ振興班	課長名	野本立一	
基本事業名	80	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			担当者名	斉藤正典	電話番号 (内線)	248-5555 1505	
予算科目	会計 01	款 10	項 06	目 02	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 18 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) ・市内スポーツ施設(総合運動公園・中央運動公園・黒石公園グラウンド・合生グラウンド・上生グラウンド・栄グラウンド・みずき台グラウンド・みずき台テニスコート・泉ヶ丘テニスコート・合志市総合体育館・西合志体育館・泉ヶ丘体育館・妙泉寺体育館・栄体育館・武道館)の運営 (業務の内容) ・市内スポーツ施設の貸し出し、収納業務 ・嘱託職員への支払事務 ・券売機リース料の支払 (予算の内訳) ・報酬、賃金、使用料及び賃借料						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	0
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

- ・スポーツ施設の貸し出し業務
- ・券売機の回収業務、リース料支払
- ・嘱託職員への支払業務

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

- ・18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

- ・スポーツ施設利用者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・利用者が使いたい施設を探せる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

活動する場がある。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 受付件数	件
イ 券売機回収に回った日数	日
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア スポーツ施設利用者	人
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 二重登録件数	件
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 学習・スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			5,732	5,732	5,732	5,732	5,732
	事業費計 (A)		千円	0	0	5,732	5,732	5,732	5,732	5,732	
	人件費	正規職員従事人数	人			5	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時間			3,385	3,995	3,995	4,005	4,005	
		人件費計 (B)	千円	0	0	13,438	15,860	15,860	15,900	15,900	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	19,170	21,592	21,592	21,632	21,632	
活動指標		ア	件			26614	27000	27000	27000	27000	
		イ	日			12	12	12	12	12	
		ウ									
対象指標		ア	人			400000	401000	401000	402000	402000	
		イ									
		ウ									
成果指標		ア	件			未把握	0	0	0	0	
		イ									
		ウ									
上位成果指標		ア	%								
		イ									
		ウ									

事務事業名	体育施設運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
スポーツ施設が設置され、一般開放されるようになり貸出しが重複しないように開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
合併し、旧合志町で使用していた施設管理システムを拡張し、市内のほとんどの施設を管理できるようになった。
また、券売機の導入により窓口での即時納入が可能となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・端末操作に不慣れな人は時間がかかり受付に時間がかかるという苦情もある。
また、人的なミスにより予約データが消失しそこに別の予約が入ると二重予約が発生し迷惑をかけることがある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 意図の利用者が使いたい施設を探せることにより、活動する場があるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 券売機による料金収納や予約システムは施設予約のミスを最小限にし、また受付後の料金収納ができるため施設運営上有効である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 現在インターネットからの予約状況がわかるようになっているが、予約はできない。もし予約ができるようになれば、利用者の増加が期待される。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 スポーツ施設の効率的な運用ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ⇒【具体的な手段、事務事業】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の事業がない ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 申請書印刷の方法を考える
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 既に嘱託職員を配置している
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 スポーツ施設の利用料金の見直しが必要である

合志市

事務事業名	体育施設運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

効率的に運営できているが、人的なミスで多大な迷惑をかけることもあるので細心の注意が必要。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☒ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

維持管理を含め運営も指定管理者制度を検討する必要がある。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ・料金改正
- ・指定管理者制度導入の検討
- ・インターネットからの予約があればよいが、予約システム改良費がかかり、料金支払方法や予約の順番等の問題が残る。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項